

8 . サラリーマンの役割

第8章 労働市場

1 . 労働需給

景気変動と雇用調整

賃金調整

近年の失業増加

就業促進とミスマッチ解消

2 . 労働力の供給と需要

少子高齢化と労働力供給の構造変化

女性の労働力供給

労働力の質と労働生産性

サービス化、グローバル化、技術革新と労働力需要の構造変化

3 . 日本の労働市場の特徴

「日本的雇用慣行」に対する見方

「日本的雇用慣行」のコスト

「日本的雇用慣行」の変容

4 . これからの労働市場

雇用・就業の多様化

若年雇用をめぐる課題

労働需給の制約

働く者の権利と意識

(2) 労働力率

15 歳以上のうち、就業の意思をもって労働市場に現れる人口 (労働力人口)

労働力率 = () 人口 / () 人口

女性の労働力率の変化

グラフ参照 () 字型 男女共同参画白書

(3) 失業率

失業率 = 失業者 / ()

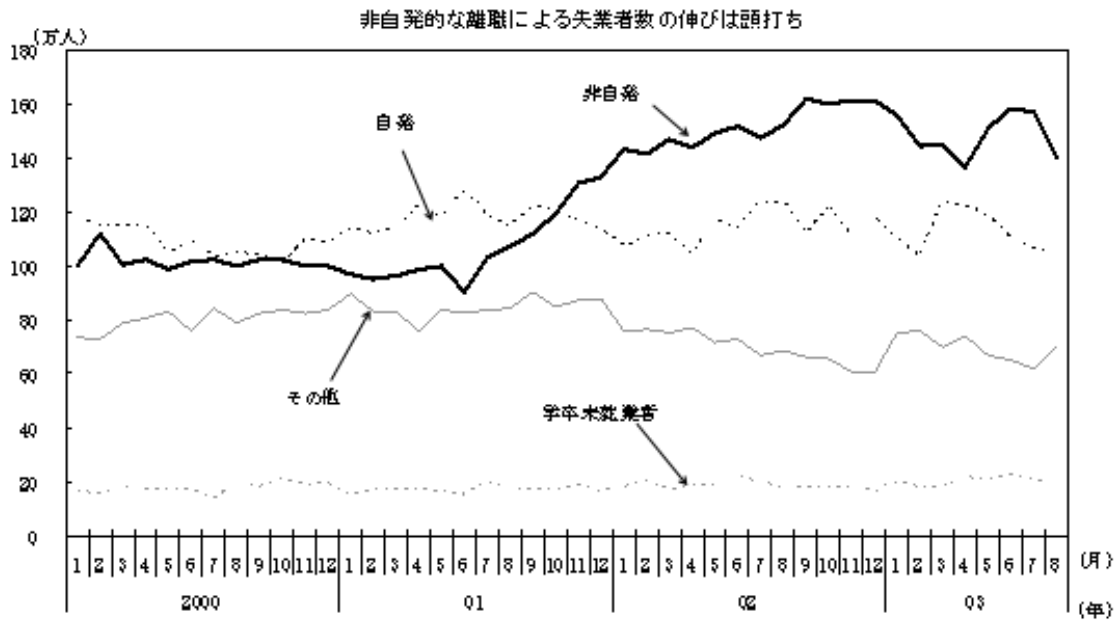
最近の特徴

男女とも上昇傾向

() 失業の増加

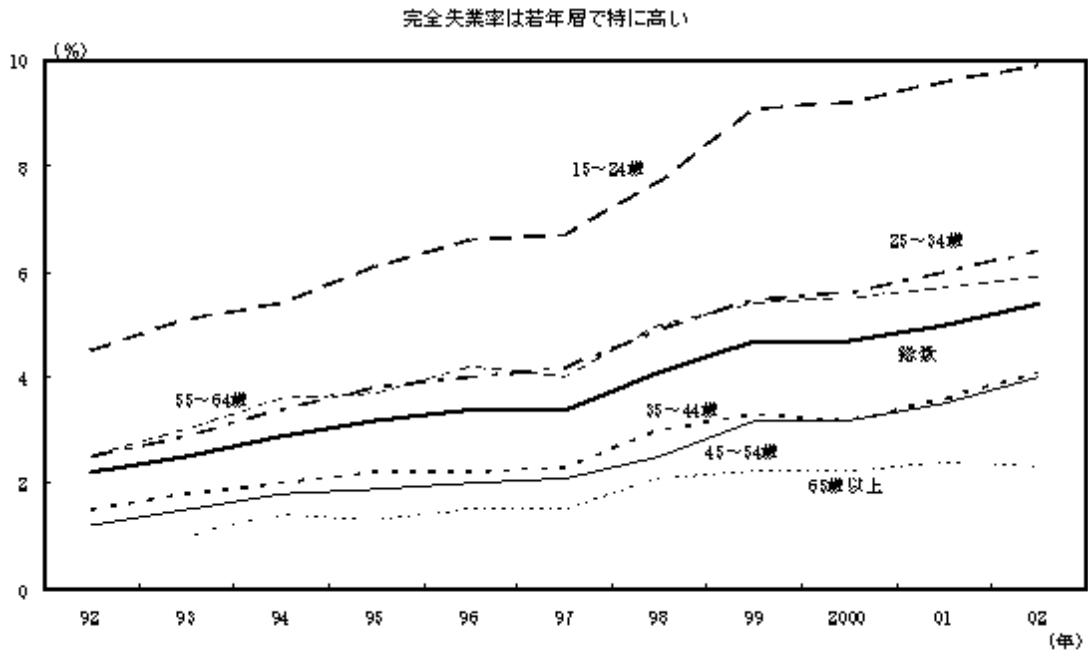
年齢別には、() () ()

第1-1-23図 求職理由別完全失業者数の推移



(備考) 1. 総務省「労働力調査」より作成
2. 内閣府にて季節調整

第2-4-6図 年齢階級別完全失業率の推移



(備考) 総務省「労働力調査」により作成。

(4) 女性の労働力供給

女性の就業率が低い 学歴(大卒・短大卒、高卒、中卒)で就業率に差がない

出産後再就職が困難

専業主婦が特になる制度(改正が必要)

(5) 若年者雇用をめぐる課題

フリーターの増加

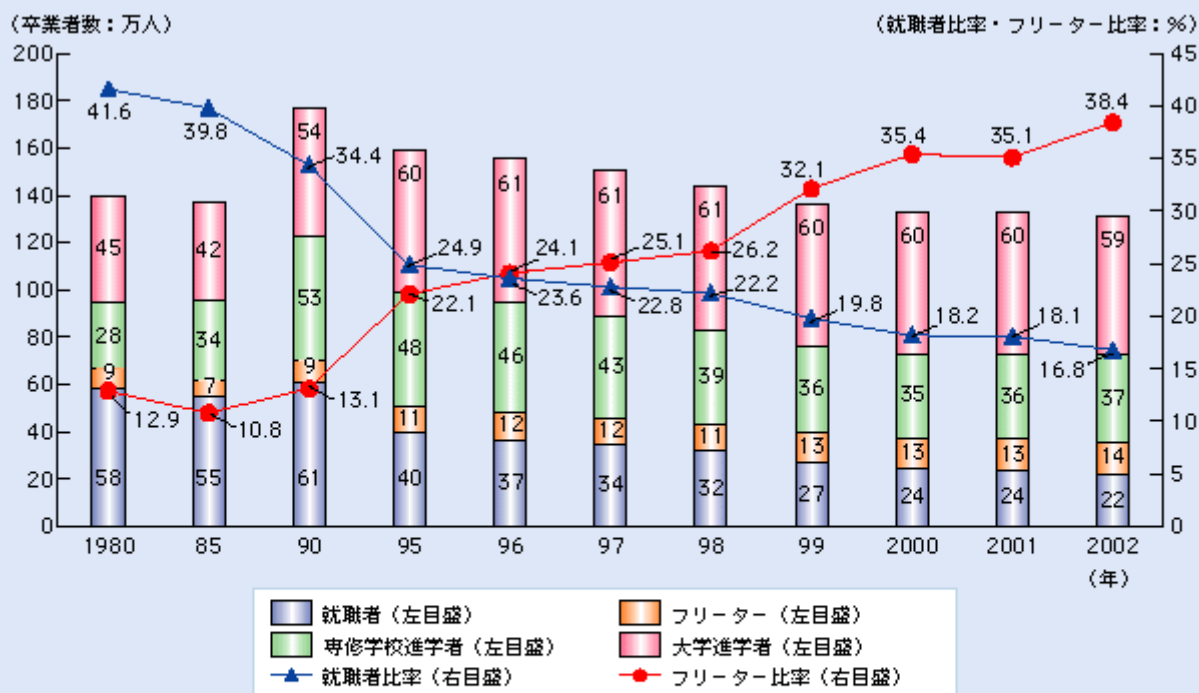
『国民生活白書』の定義

15 - 34 歳の若者(ただし、学生と主婦を除く)のうち、パート・アルバイト(派遣等は含む)および働く意思のある無職の人

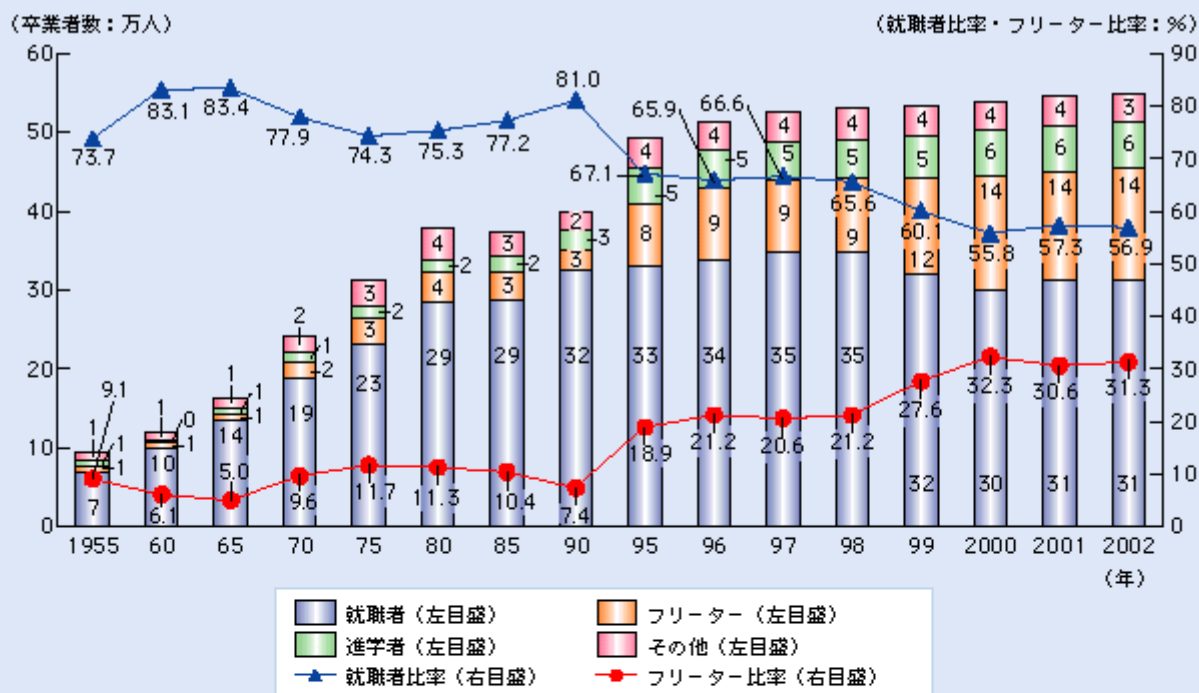
正規雇用者になりたかったにもかかわらずフリーターになった人 ()割

内閣府「若者層の意識実態調査」(2003年)

(1) 高校卒業者



(2) 大学卒業者



(備考) 1. 文部科学省「学校基本調査」により作成。

2. (1) は進路先別高校卒業者数、高校卒業者の就職者比率及びフリーター比率の推移。(2) は進路先別大学卒業者数、大学卒業者の就職者比率及びフリーター比率の推移。

3. 「就職者」は給料、賃金、報酬、その他経常的な収入を目的とする仕事に就いた人。自家・自営業に就いた人は含めるが、アルバイトなど臨時的な仕事に就いた人は含めない。

4. 「大学進学者」は大学・短期大学への進学者。通信教育の学生を含む。

5. 高卒の「フリーター」は、進路が未定であることがあきらかな人で、「大学進学者」、「専修学校進学者」及び「就職者」のいずれにも該当しない人。

6. 大卒の「フリーター」は、進路が未定であることがあきらかな人で、臨時的な収入を目的とする仕事に就いた人、「就職者」及び「進学者」のいずれにも該当しない人。

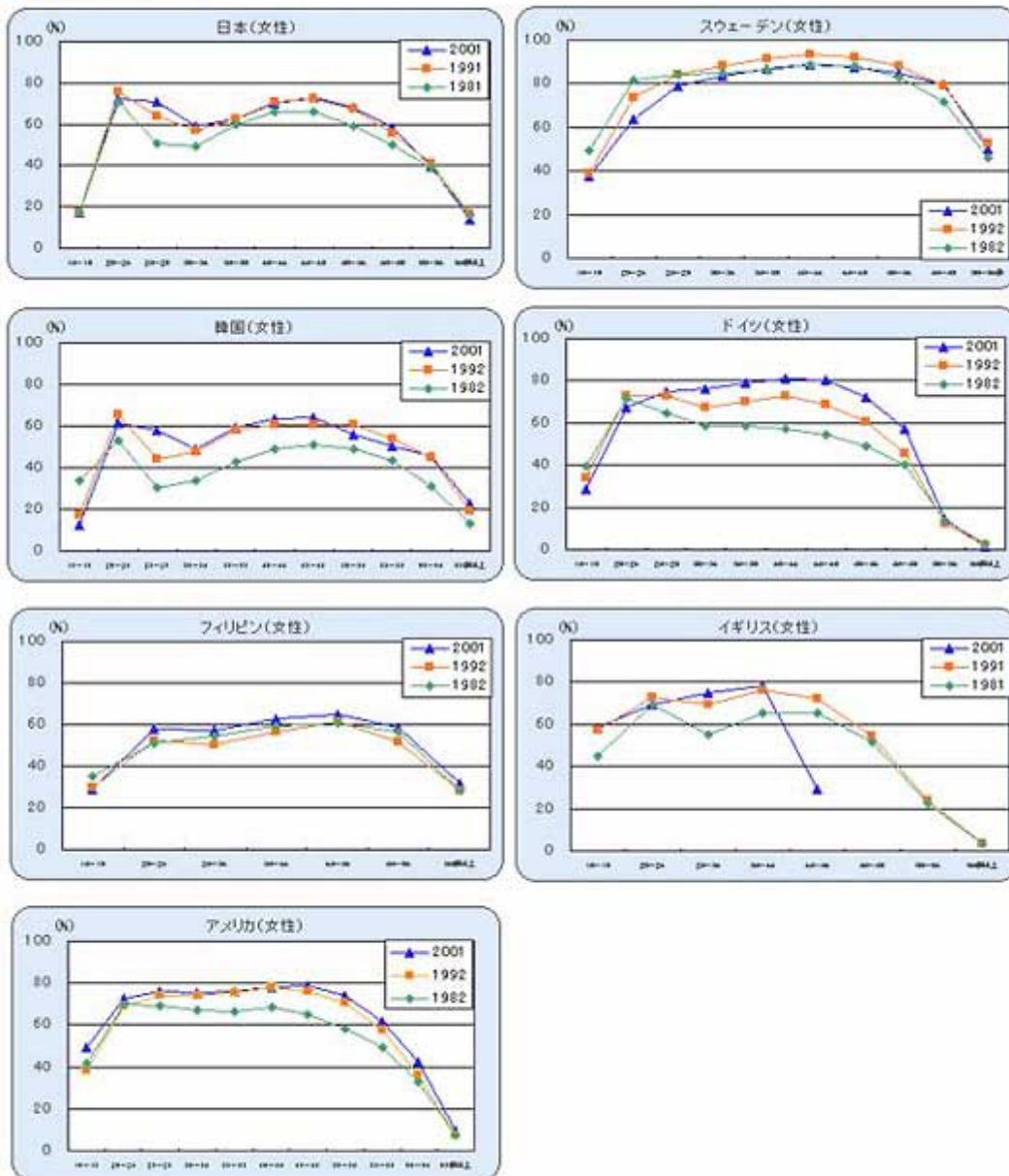
7. 「その他」は臨床研修医(予定者を含む)、死亡・不詳の人。

8. 「就職者比率」は卒業生全体に占める就職者の割合。

9. 「フリーター比率」はフリーターと就職者の合計に占めるフリーターの割合。

10. 「専修学校進学者」には、「専修学校(専門課程)進学者」、「専修学校(一般課程)等入学者」、「各種学校入学者」及び「公共職業能力開発施設等入学者」を含む。

第1-序-20図 各国年齢階級別女性労働力率



(備考) 1. ILO「Yearbook of Labour Statistics」より作成。
 2. 2001年のフィリピン55～64歳は55～74歳、65歳以上は75歳。
 2001年のイギリス35～44歳は35～49歳、45～54歳は50歳以上。